

古谷田カ市長の “現地現場”へ ～いいね 大和市を目指して～

市民の皆さん、こんにちは。私が最近、現地・現場で体験したことについてお話ししたいと思います。

8月3日・4日・18日
未来のやまと こどもミーティング

大和市の新しい総合計画の策定に向け、市内の小・中学校に通う子どもたちと対話する「未来のやまと こどもミーティング」を開催し、8月3日29人、8月4日28人、8月18日31人の計88人に参加いただきました。



市が実施するすべての業務に関わる最上位の計画である総合計画は、中長年にわたる市政の方向性を示すものです。その策定に当たっては、10年後の理想的なまちの姿を想像して、その実現のためには何が必要なのかをさまざまな視点で検討することが重要となります。今回のこどもミーティングは「未来の大和市が「いいね！」と言われるまちになるために、これから何をするといいか」をテーマに「大和のいいところ、良くないところ」など、率直なご意見を多数いただきました。

将来を担う小・中学生との直接対話でいただいたご意見は、総合計画の策定やまちづくりに生かしていきます。

9月16日
やまとジュニアTRYアスロン

(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団の主催で、大和市初の大会「やまとジュニアTRYアスロン」が開催されました。



トライアスロンは、スイム・バイク・ランの3つの種目を一人が連続して行う競技で、非常に過酷な競技と言われますが、小学生が取り組みやすい内容にアレンジし、スイム120㍓、バイク約1,300㍓、ラン約1,000㍓というコースを設定。小学3年生26人、小学4年生26人、小学5年生27人、小学6年生26人の計105人が参加し、学年別に合計タイムを競いました。選手の皆さんの頑張りが、ご本人はもちろん、ご家族も、そして見ていた私たちにも熱い感動を与えてくれました。

本大会名には“TRY”が入っていますが、私は子どもたちになんでもチャレンジすることを経験してほしいと考えています。やってみたら、思ったようにいかなかったり、悔しい思いをすることもあるかと思います。会場では悔し涙を流している選手もいましたが、「来年また挑戦する」と力強い言葉を聴くことができてとても頼もしく感じました。逆境を乗り越えていく力を養う場の一つになってくれたら心からうれしく思います。

皆さんの一人一人の協力が必要です
ごみの減量化や資源化には、皆さん一人一人の意識と行動が大きなポイントとなります。「購入時から、ごみが出ないよう考えて買い物をする」「繰り返し使ったり、ほかのことに利用できないか考えてみる」「最後に捨てるごみと資源に分別する」などに取り組んでいくことで、大切な資源を守ることが出来ます。地球温暖化防止のためにも、ごみの分別や減量化にご協力をお願いします。

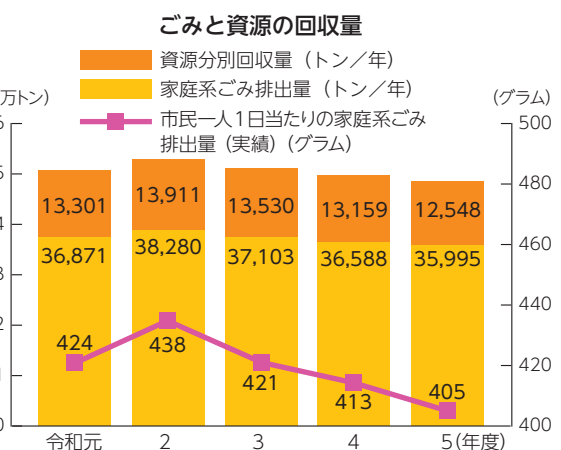
更なるごみの減量化・資源化にご協力を

皆さん一人一人の協力が必要です

■家庭系ごみ排出量、資源分別回収量の推移

令和5年度の家庭系ごみ排出量は、前年度と比較して約1・6割減少し、市民一人1日当たりになると405gでした。また、資源分別回収量は約4・6割減少しました。

令和5年度の家庭系有料指定ごみ袋（以下「指定ごみ袋」）の売り上げ枚数は、約1,177万枚、総額で約3億8,680万円でした。指定ごみ袋の売り上げは、全額をごみの減量化・資源化に関連する事業に充てており、ごみ処理経費全体の約5・8割に相当します。



やまと産業フェア、環境フェアを開催

共通事項

とき▼11月9日(土)・10日(日) いずれも午前10時～午後3時30分。

やまと産業フェア2024

ところ▼①やまと公園、②大和商工会議所(中央5-1-4)、③中央1号公園。

【①やまと公園会場】

大和市特産品・推奨品の販売、紙飛行機大会、バスボム作り、ダンス・阿波踊りなどのステージイベント、飲食・物販出店ほか。

【②大和商工会議所会場】

子ども向け職業体験イベント、チヨロQゲームコーナーほか。

【③中央1号公園会場】

市内で収穫された農産物の品評会や展示即売会、古本市。

環境フェア2024

環境団体や市などの日頃の取り組みの紹介など。

ところ▼③中央1号公園

主な出展予定団体▼エコ布ぞうりの会、大和市生活協同組合運営協議会ほか。

関係▼市役所生活環境保全課美化推進係 ☎(260)5498 FAX(260)6281



令和6年度大和市エンジョイサッカー With横浜F・マリノスを開催

カースバイク可

申し込み▼11月14日(木)までに直接または電話で大和スポーツセンター内スポーツ課へ。市公式LINE、市のホームページからも可。



関係▼大和スポーツセンター内スポーツ課スポーツのまち推進係 ☎(260)5763 FAX(262)9514

保育士有資格者職場体験を実施

市立保育園で保育士の実務を体験し、就労への不安を解消しませんか。

とき▼来年2月までの間で5日以内

ところ▼各市立保育園

対象▼保育施設で就労を希望する保育士資格を持つ人

申し込み▼電話で各保育園へ(緑野保育園 ☎(274)4769、若葉保育園 ☎(261)3603、草柳保育園 ☎(264)1919、福田保育園 ☎(267)0995)。

関係▼保健福祉センターほいく課保育指導係 ☎(260)5672 FAX(264)0202